

## はじめに

航空連合は、1999年の結成以来、より安全で利用しやすい航空運送を実現し、航空および観光を含めた航空関連産業が健全に発展していくことを目指して、働く者の立場から、広く利用者本位の視点を持った「産業政策提言」を策定し、政策の実現に取り組んでいます。

私たちの航空関連産業は、国内、海外との人の移動や物流を支える重要な社会インフラとしての役割を果たすとともに、宿泊、旅行業などを通じて日本における重要政策である観光先進国の実現に向けて貢献しています。一方で、新型コロナウイルスなどの感染症や地政学的リスク、自然災害などの影響を直接的に受けやすく、イベントリスクに強い産業基盤を構築し、環境変化に迅速、柔軟に対応していくことが極めて重要です。

私たちの産業を支えているのは専門性の高い人材であり、その雇用を守り、この産業で働きたいと思う人を継続的に確保、育成していくことが重要です。そのためには、安全を基盤に産業レベルでの「圧倒的な生産性向上」を実現し、産業を発展させると同時に、人材への投資を通じて、安心して長く働き続けられる環境を構築することが重要です。そして生産性向上を実現し、確実に産業を発展、成長させていくためには、「産業政策提言」に記載した政策課題を着実に、スピード感を持って実現していく必要があります。

優れた政策も実現できなければ組合員や社会に何も還元することはできません。策定した提言内容は、限られた関係者のみで議論するのではなく、その実現のためには広く世論を巻き込んだ取り組みが必要です。

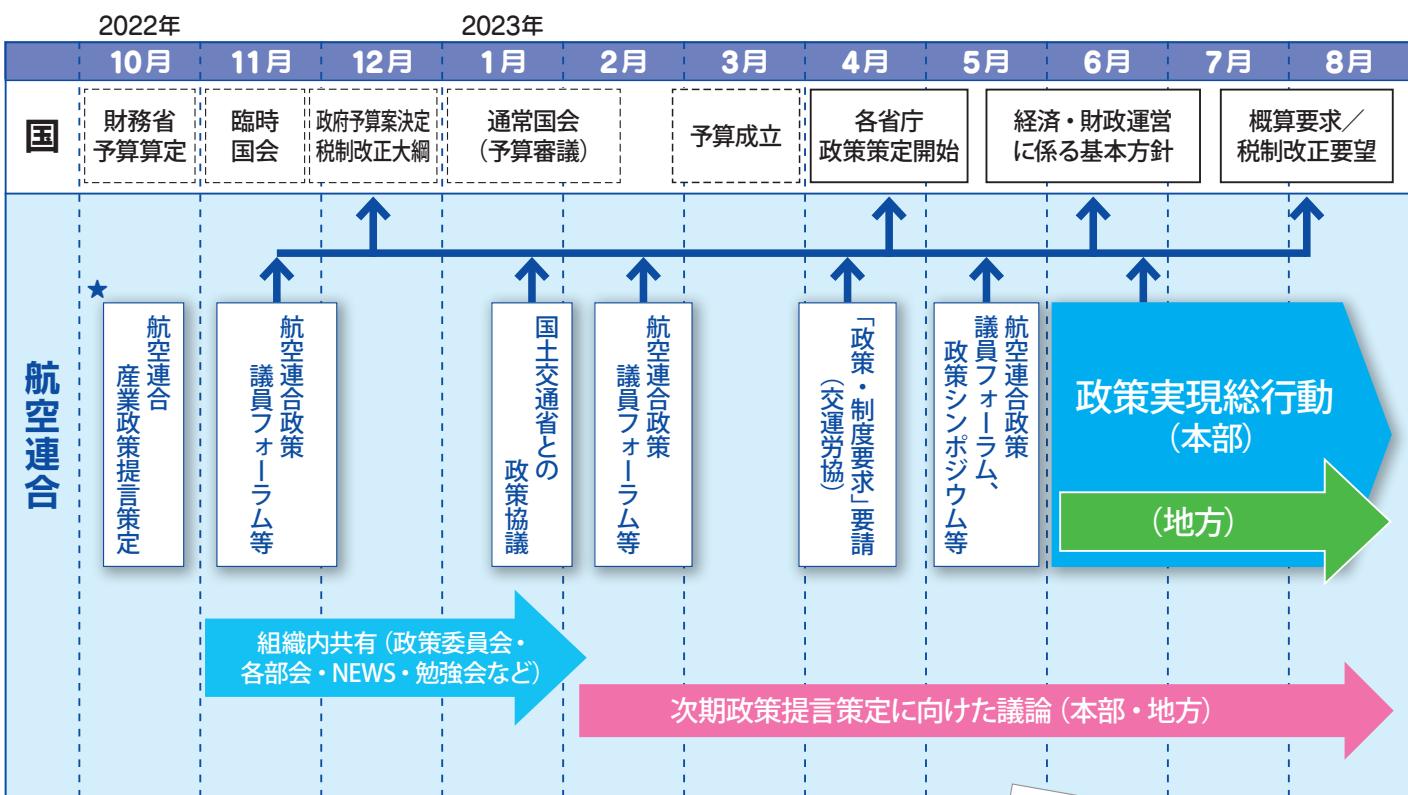
航空連合は、航空労働界を代表する産業別労働組合として、責任と自覚を持ち、引き続き政策内容に磨きをかけるとともに、政策実現に向けたあらゆる活動に精力的に取り組み、私たちの将来を自らの手で切り拓いていきます。

### 主な産業政策に関する中期スケジュール(2022年度～2025・2030年度)

2022年10月現在

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	～2030年度
航空連合	第23期	第24期	第25期	第26期～	
政治・経済等	▼参議院選挙	▼サッカーW杯 (カタール)		▼参議院選挙 ▼2025年 大阪・関西万博	訪日外国人旅行者数 6,000万人(目標) ▼2027年リニア中央新幹線 (東京～名古屋)開業目標 ▼2020年代後半 IR(統合型リゾート施設)導入
航空政策	▼2022年度 西日本上下分離(完了)	福岡空港滑走路増設事業 航空路管制空域の再編整備事業 総合物流施策大綱(2021年度～2025年度)	首都圏機能強化	▼2025年度 新滑走路供用予定 ▼2025年度 東日本上下分離予定 ▼2025年度 空港内における 自動運転レベル4相当 導入目標	▼2028年度成田空港 第3滑走路供用予定 ▼2027年度 中部空港 新滑走路供用構想 ▼2030年 SAF使用割合目標10%
税制・予算等	航空機燃料税 減免措置 地球温暖化対策税 還付措置 軽油引取税減免措置		減免終了 還付終了		

# 政策活動の年間スケジュール（イメージ）



第23期第3回航空連合政策議員フォーラムを開催(2022.5.31)



「航空連産業における  
『圧倒的な生産性向上』の実現に向けて」をテーマに  
第23期政策シンポジウムを開催(2022.5.18)



「航空連産業における  
『圧倒的な生産性向上』の実現に向けて」をテーマに  
第23期政策シンポジウムを開催(2022.5.18)

2022.4.4 No.23-44 EXPRESS

GO! <https://www.jfaiu.jp>

# 航空連合NEWS

港内免許やランプバスの運用が改善されます！

~働くもの利便性・生産性向上に繋がる航空連合の主張が実現！~

4月1日(金)、航空法に基づく「空港運営業務指針」が一部改正され、空港業務従事者の港内免許やランプバスの取り扱いが改善されました。航空連合は、かねてからこれらに関する取り扱いの改善を要請しており、今回もその一部が実現しました。

引き続き、働くもの利便性・生産性の向上につながる主張をおこなっています。

航空連合の掲載内容

【港内免許の見直し】

空港業務従事者の異動時に必要な港内移動許可を得るために、従事者に課される手数料を簡略化を図ることを要請。

【ランプバスの取得】

ランプバスの取得手数料を簡略化や標準化を検討すべき。

航空連合ビジョン

いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもつて働く産業



記者会見で2021-2022産業政策提言について説明(2021.10.12)

2022.4.28 No.23-57 EXPRESS

GO! <https://www.jfaiu.jp>

# 航空連合NEWS

政府の緊急経済対策に航空連合の主張が反映！

~航油高騰への支援策が盛り込まれる！~

4月26日(火)、政府は「コロナ禍における『原油価格・物価高騰等緊急対策』」をとりまとめました。このなかで、航空連合が各所に強調する主張・要請についての航油価格高騰などに対する航空業界への支援策が新たに反映されました。

今後は、本施策による政策効果を注視しつつ、引き続き航空連合の政策実現に向け取り組みを強化してまいります。

航空連合の主張

政府発表の緊急対策内容

コロナ禍における『原油価格・物価高騰等緊急対策』

- 航油価格高騰対策\_1.5兆円(5ヶ月累計)**  
燃料油に対する激変緩和事業について、長引く航油価格の高騰・乱高下がコロナ禍からの経済回復や国民生活への悪影響を与えることを防ぐために、新たに基準価格を168円とし、支給額を35円とすることで、さらなる超過分についても2%を支援する制度を設けることで構えを万円にする。**また、航空機燃料も対象となります。**

航空連合ビジョン

いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもつて働く産業



Auto ELTの規制緩和を総務省に要請(2022.4.8)

2022.7.12 No.23-82 EXPRESS

GO! <https://www.jfaiu.jp>

# 航空連合NEWS

第23期航空安全シンポジウムを開催！

~労組の役割を再認識し、安全意識を一層高めるために~

7月7日(木)、全面オンラインで第23期航空安全シンポジウムを開催されました。会社関係者・会員の総数は約130名が参加されました。航空連合は、航空安全に関する取り組みを発表した後、大原公一会長・科学研究所の余村幹に「職場における『自分にできること』」と題する法的課題と「今後の見直し」について講演頂きました。

参加者は皆質問や感想の現れについて意見が多くあられ、コロナ後も需要増加に対応し、安心して働くことができる環境整備について考え、実機となりました。(今後発行する航空連合NEWSにて詳しく述べます)

航空連合

航空連合

内藤晃  
航空連合会長

古川裕  
航空連合会員

上田さくら  
航空連合の水谷会員

航空連合ビジョン

いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもつて働く産業



政策委員会で国会を見学(2022.8.19)